

身高 Dream Project

上級学校 職場見学会

本校のキャリア教育における、秋の大きな行事に上級学校・職場見学会があります。1年次生は全員、「産業社会と人間」の授業の一環で四年制大学と専門学校を見学に行きます。2年次生には、自分の進路に応じて一般企業や役場、分野ごとの専門学校、短期大学、四年制大学とさらに細かいコースが用意されています。



1年次生は、この見学会で見たこと、学んだことなどをポスターやスライドにしてまとめ、年次内で発表を行います。この学習を通じて、自分の考えをまとめる力、人前でのプレゼンテーション能力を向上させていきます。また、生徒たちはこの発表を12月20日、中高連携事業の取り組みの一つである「キャリアセミナー」で身延中・南部中でも行う予定です。



教養講座

毎年、この時期に行う「教養講座」は、演劇→音楽→古典芸能の順で各年度、鑑賞をするというものです。豊かな感性を育み、想像力や表現力向上のためのキャリア教育の一つです。今年は古典芸能の年にあたり、「狂言」を鑑賞しました。はじめはよく分からなかった生徒たちも、話の筋をつかむと楽しんで見ることができました。また、見るだけではなく体験するコーナーもあり、生涯の中でなかなか経験することができない時間となりました。



生徒の感想(一部)

大学や専門学校には、どのような違いがあるか分かったし、どういったものを勉強するのか分かった。

山梨とは少し違う所へ行くことにより、山梨の大学とは違う楽しさや大学について分からなかったことが分かった。

進学後の不安が減り、意欲が上がった。

将来の目標が決まっているが、新しい選択肢が増えた。

今進路でとても悩んでいるので、私にとってものすごく重要なものになったと思います。

資格をたくさん取ろうと思いました。自分の将来のためなので将来に役立つように過ごしたいと思いました。

大学の環境を見ることができて良かった。全てが大きく、とても新鮮だった。特に図書館は、町立図書館とは比べものにならないくらいの本が並んでおり、とても関心を持った。

SHINKO 身高VIEW

Vol. 7
2018. December
MINOBU
HIGH SCHOOL

実りの秋号



身高の実り多き秋!



校長のつぶやき



「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。」とつづるのは方丈記(鴨長明作)の冒頭です。この後に、世の中の人も同様だと続き、世の無常を訴えています。私は高校生の頃、このくだりに心を震わせたことを覚えています。

去る10月10日に、本校の同窓生であり、元山梨県知事の望月幸明様より、望月様の蔵書の一部で、しかも高校生(身延高校生)に読んでほしいものを選んで約600冊を寄贈していただきました。その際に、望月様からお聞きした話では、中学・高校くらいの時は、夏目漱石の著作などの日本文学や、トルストイなどの外国文学の本物に

たっぷり触れることが大切であるとのことでした。そして、望月様は高校の時に1日200ページを毎日読まれたとのことでした。

日本の文学、世界の文学の中には、本当に心を揺さぶられるようなものは沢山あります。冒頭の方丈記も私にとっては今でも忘れられない心に残る書のひとつと言えます。そんな洗練された文章に触れることで、知識は限りなく広がり、感性はますます豊かになり、人生の味わいを深めてくれるのではないかと思います。

望月様のご厚意に深く感謝申し上げます。この場をお借りして紹介させていただきたいと思います。併せて、活字離れが叫ばれる中ですが、高校生諸君の読書を大いに期待しています。



生徒会 新体制決まる!!

新生徒会長 藤田 美久 「次年度に向けて」



この度、生徒会長に就任しました、藤田美久です。
私は昨年度の10月から生徒会として活動していく中で一つ一つの行事を成功させるためにたくさんの方を考えた仕事を大変さを知りました。もちろん、達成感もありましたが、それだけではなく、常に周りを見て行動している先輩方を見て、自分への課題もたくさん見つかりました。また先輩方がいるからこそ私たちが安心して、仕事ができるということに気がつきました。そんな先輩方が私にとっての目標となりました。
これから新生徒会として活動していく中でまだ不安はありますが、生徒会役員全員で協力し合い、1年間でたくさんの事に挑戦していきたいです。生徒皆さんから頼りにされる生徒会になれるように頑張りますので、1年間よろしくお願ひします。

新生徒副会長 小森 しもん 「新体制を迎えて」



先日、入学したばかりかと思ったら、あっという間に副会長となっていました。その「あっ」の中には、非常にたくさんの出来事や思い出が詰められています。特にこの1年間は生徒会の先輩方にお世話になり続けていました。迅速に、柔軟に、そして明るく私たちを引っ張ってくださったことには、今までにないほど恩義を感じております。先輩方から受け継いだ伝統を絶やすことなく、新たに入ってくれた仲間とたちと共に良い学校を創っていけるように邁進していきたいです。新たなメンバーも活気に溢れていて、きっと良い生徒会になれると思います。これからも日々努力を重ね、身延高校を支えていきたいので、皆様よろしくお願ひします。



新生徒副会長 望月 美里 「挑戦」



私は最初、まさか自分が生徒会役員になるとは思っていませんでした。勉強との両立も大変だと思い、先生に誘われた時は驚きと共に迷いが出ました。そんな時私を支えてくれたのは、先輩方でした。「大丈夫、何かあったら相談して良いから」。その言葉に励まされ、私は生徒会役員になることに決めました。生徒会は大変な仕事ですが、そういうときこそ先輩や同じ1年生と協力して、乗り越えていこうと思っています。プレッシャーもあり、緊張してしまう部分もありますが、凡事徹底を目標に少しずつ頑張っています。また生徒会としては、身延高校を明るく、より良くしていこうと考えています。そのために日頃協力をしてくださる先生方や生徒の皆さんへの感謝を忘れず、精一杯頑張っていきたいです。何事にも「挑戦」をして、成功を目指したいと思います。

芸術の秋 ライフミュージアム2018

本校では毎年10月に1週間、学校を博物館に見立ててライフミュージアムを実施しています。
生徒が授業などで制作した作品や保護者・地域の方々の作品が多くを展示されました。休日には美術部・家庭クラブがワークショップを開催し、演劇部が公演などを行いました。また、身延中・南部中にも協力をいただき、中学生の作品展示も行いました。ライフミュージアムでは毎年、外部講師を招いての講演会や企画展示などを行っています。今年度は、一般社団法人「星つむぎの村」の高橋真理子さんをお招きしました。宇宙と音楽を融合させたその講演会に、多くの教員・生徒が感動しました。



スポーツの秋

陸上競技部 国体代表に 5名!!



初めての国体は…



3年 深沢 萌絵

私の本種目はハンマー投げですが、国体の種目にはハンマー投げがなく、円盤投げで出場を目指すことにしました。インターハイと国体出場はずっと目標だったので、絶対に逃したくないと思っていました。しかし、国体の参加標準記録まで、自分の自己ベストが足りておらず、部活の練習以外でも、家の前でターンの練習を動画を撮りながらフォームを見たり、練習内容を先生に質問したりしました。練習中、不安で投げが上手くできず、嫌になることもしばしばでした。

ずっと目標としていた大会に出場できたことは、本当に嬉しかったです。しかし、場の雰囲気にならないうような動きができず、県高校記録をねらっていましたが、遠く及ばず悔しい結果となりました。大学でも陸上競技を続けるので、次の出場の機会のために今まで以上の準備をし、最高のパフォーマンスをできればと思います。

国体は大きな経験



1年 鎌倉 郁弥

これを頑張ったってことは特にはないです。練習量も他のみんなに比べ少ないくらいですが、走る時にはすごい集中していることです。僕は、短距離走はすごく繊細な種目だと思っています。一度失敗したら、それが後にも響いてしまいます。それにレースの時間は11秒ほどしかないのです。失敗を取り戻すこともできません。けっこう難しいスポーツです。

国体に出て感じたことは、とにかく大会の規模が大きいことです。今まで出た大会よりも比べものにならないほど大きかったです。また世界で活躍している選手も出場します。僕はそのような大会に出場できて、とてもいい経験ができました。今後はこの経験を活かして、全国の上で戦えるような選手になりたいです。

夢の実現に向けて



3年 野口 伶恩

私は今まで、インターハイ、国体といった全国大会を目標に日々練習してきました。今年度の南関東大会の200mでは、あと0.04秒というタイムで決勝を逃し、悔しい気持ちでいっぱいであり、次の全国舞台の獲得のチャンスが国体しか残っていませんでした。私はそれに向けて朝や部活動が終わった後も一人で黙々と自主練習を行い、練習方法をもっと効率的になるように考えながら過ごしてきました。その結果、400mで国体に出場することができました。

国体という全国の雰囲気を感じながら、少年男子A400mの予選、自己ベストは出なかったものの準決勝に進むことができました。決勝には行けませんでした。それでも国体という大きな舞台に立てたことは、一生の財産にもなりました。私は大学でも陸上を続けて、将来は、陸上競技に関わる仕事につけたいと思っています。まずはこの冬季練習をしっかりとやり、関東インカレ、全日本インカレに出て、そしてまたこの国体の舞台に帰ってきたいです。

来年を見据えて



1年 珊瑚 菜帆

私は今回、国体の400mリレーに出場させていただきました。直前まで怪我をしていて、思うような練習を積むことができず、正直不安もありました。練習不足を補うために、質の高い練習になるようにしました。与えられたことをただこなすだけでは強くなれないと思ったので、その与えられたメニューのどこを意識すればいいのかわかり、意味を考えながら、自分なりに工夫して練習しました。そのため自信もつき、不安なくレースに臨むことができました。そして自分の走りに集中でき、大きな舞台で力を発揮することができました。

私は今まで全国大会や関東大会などの大きな大会では、緊張しすぎてしまったり、周りを意識しすぎてしまったりと、集中できない状態で、自分の走りができないことばかりでした。だから今回、納得のいくレースができたことは大きな成果だと思うし、今後のレースにもつながると思います。また、国体という大きな舞台で走らせていただくことは、とても貴重な経験だったと思います。来年も出場できるように、これからの練習も頑張っていきたいです。次は、個人種目でも出場できるように頑張りたいです!

国体を終えて



2年 羽田 虎太郎

私は10月5~9日まで第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」に出場してきました。昨年どんなに頑張っても練習を積んでも思うように記録が伸びず悩んでいる時がありました。同級生はみんな関東大会へ行っているのに自分は悔しい思いをしていました。とにかく悔しくて、辛く苦しい冬を気持ちで乗り越えました。その甲斐があつて、今シーズンが始まって早々自己ベストを連発し、ついに国体出場のキップを手にすることができました。

全国の舞台は、県の代表ということもあり、とても緊張とプレッシャーにつぶされそうでした。しかし、たくさんの方から応援のメッセージを受け、一人で戦っている訳ではないと勇気づけられました。自己ベストとはほど遠い結果に、悔しさは隠せません。悔いが残る結果でしたが、多くの事を学び、とても有意義な経験になりました。

全国の強さを知り、陸上競技の奥深さを知り、一人ではないことを知りました。個人で強くなるのはもちろん、陸上部全員でもっと上のステージを目指して、全国で戦える集団になりたいと強く思いました。

県高校新人陸上大会 女子総合優勝・男子総合準優勝!

関東高等学校 カヌー選抜大会 優勝!

スラローム競技の部

望月 朝海

カヌーを始めたばかりの当初は、目標は特にありませんでしたが、自分自身の能力を上げようという意識はありました。
自分がどれくらいできていて、どれくらいできていないかを自分で考えながら、自分が上手くなれるだけだろう、という意識で練習していました。
ある程度カヌーのことが分かってきて、上達していくと、上達するための手段や、練習の意味を見失って部活が少し嫌な時期がありました。このような時に、このような大きな大会で優勝できたのはとても嬉しかったです。高校生活においても少しは業績らしいものができ、少しほっとしています。今回のスラロームは個人競技で、次の大会は団体競技のポロなので、チーム全体の事も考えながら練習を続けていこうと思っています。

女子駅伝 関東出場!



第78回強歩大会

今年も生徒たちは28キロの道のりに臨みました。昨年とは違い、天候に恵まれた1日となりました。生徒たちは各々の想いをもちながら、一生懸命走りました。御協力いただいた保護者の方々、地域の方々ありがとうございました。



	男子	女子
第1位	山内 寛慈(3年)	佐野 鈴香(1年)
第2位	石原 和樹(2年)	木内 天音(1年)
第3位	土橋 奎太(3年)	藤田 梨子(3年)